

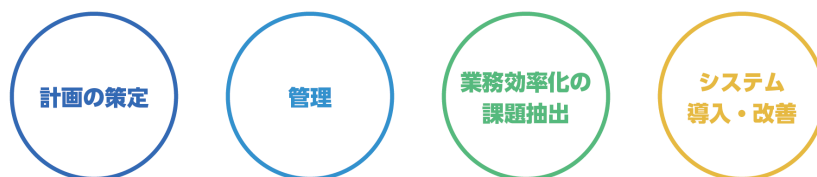
企業経営及び情報処理技術の活用の具体的な方策（戦略）の決定

当社は、健康保健事業におけるデータ処理・分析業務の高度化と顧客サービス品質の向上を目的として、中長期的なDX推進を計画している。現在は複数の管理システムを活用しているが、将来はシステムを統合・連携によりデータ分析基盤の整備、外部サービスとの連携強化を図ることで、業務効率化と顧客価値向上の同時実現を目指す。また、データの信頼性確保とセキュリティ強化をDX推進の前提条件として位置づけ、継続的な改善を行う体制を整備している。

### ① 戦略を効果的に進めるための体制の提示

#### 現在

DX推進委員会（2025年9月発足）として、各部署から選出されたメンバーで構成する横断的な推進体制を整備した。委員会は実務執行責任者の指揮のもと、下記のDX推進および業務効率化の課題を検討している。



#### 将来

DX推進・情報管理システムの専門部署を設置し、

- ・DXリテラシー向上研修：システムの扱い方、個人情報の取り扱い方

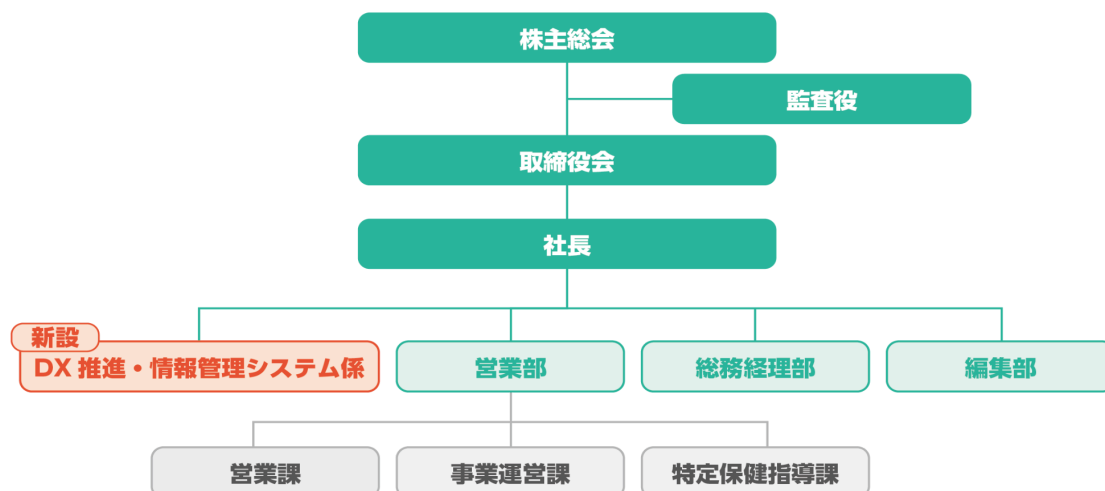
- ・DX資格取得：ビジネス検定やITパスポート試験（国家資格）、基本情報技術者試験（ITパスポートの上位資格）

などを導入することで、全社的なデジタル活用能力の底上げを図る。これにより、戦略の実効性を担保し、継続的な改善を可能とする組織体制を構築する。



gendai

#### 組織図



## ② 最新の情報処理技術を活用するための環境整備の具体的方策

内容：

業務プロセス全体の見直しを遂行するためには、

- ・在庫下限アラート通知システム
- ・外部サービス連携通知
- ・保健指導受付共有連携システム

などのデジタル技術による自動化を導入し、重複作業の削減や承認フローの簡略化を図り、業務の標準化およびヒューマンエラーの低減を実現する。また、データ蓄積・分析環境の整備を進め、最新の情報処理技術を活用した業務改善を継続的に実施する。さらに、システム導入・改修時にはセキュリティ要件を事前に定義し、レビューを行うことで、安全性と信頼性を確保したDX基盤を構築する。加えて、外部研修や専門家の知見を取り入れ、最新技術の動向を継続的に把握し、必要に応じてシステムや業務プロセスに反映する仕組みを整備する。